令和７年度

大学院教育学研究科
学　生　募　集　要　項
（３次募集）

教育実践創成専攻（教職大学院）
一般選抜・現職教員選抜

山梨大学
UNIVERSITY OF YAMANASHI
地域の中核 世界の人材

不測の事態（災害等）により、本募集要項の内容とは異なる方法で選抜を実施する場合は、
本学ホームページ（https://www.yamanashi.ac.jp/examination_list）に最新の情報を掲載しますので、随時確認してください。

入学者受入方針（アドミッションポリシー）

山梨大学大学院における教育目標及びポリシー

＜教育目標＞

山梨大学大学院では、「地域の中核、世界の人材」の標語の下、幅広い教養と汎用能力及び専門分野の知識と技能を身に付け豊かな人間性と専門性をもって国際的にも活躍できる人材を育成します。

このような人材の育成を実現するため、大学院課程における「学位授与の方針」、「教育課程編成・実施の方針」、「入学者受入れの方針」を定めます。

＜入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）＞

山梨大学大学院では、以下のような能力や意欲を備えた人々を積極的に受け入れます。

・知的好奇心が旺盛で、自ら研究を行う意欲のある人

・これまで以上に幅広い教養や汎用能力の習得に意欲があり、かつ高度な専門的知識や応用能力を修得したい人

・論理的な思考力や豊かな人間性を備え、地域や国際社会でリーダーとして活躍したい人

・職業経験に基づいた知識や技能を高度化、深化させたい人

教育学研究科の理念・目標とアドミッションポリシー

＜理念・目標＞

教育に関する高度な実践的専門性を有し、地域の学校の課題に即した学校改善・学級改善・授業改善の構想力・実践力、教育実践をリードする力の育成や、小学校、中・高等学校の各教科において質の高い教育内容研究・教材研究をもとにした授業の構想力・実践力、さらに教科横断・校種縦断に基づく高度な授業開発力の育成を目指します。

＜育成目標＞

地域や学校の教育課題への対応や、学校改善のためのマネジメント能力などとともに、教科横断と校種縦断という視点から、教科の目標・本質を踏まえた授業構想・展開などの総合的な実践力を高めることを目指しています。

＜求める能力・人物像＞

教育問題に強い関心を持ち、実践的な対応力と専門的な力量を身につけたいという意思を持ち、地域・文化の向上に寄与したいという意欲のある人を求めています。

教育実践創成専攻

＜育成目標＞

地域や学校の教育課題への対応や、学校改善のためのマネジメント能力などとともに、教科横断と校種縦断という視点から、教科の目標・本質を踏まえた授業構想・展開などの総合的な実践力を高めることを目指しています。

また、目指す教師像は次のとおりです。

本専攻では、地域や学校の教育課題に対応し、学校において指導的・中核的な役割を果たす教員を育成します。現職教員学生に対しては、若手教員の育成や、教科の目標・本質を踏まえた学習指導、学校マネジメントに関する指導的役割を果たし、新しい学校づくりのリーダーや管理職として 学校を運営していく

教員を育成します。学部卒業学生に対しては、教科指導・学級経営に関する実践力を備え、将来的に新しい学校づくりの有力な担い手となる教員を育成します。

＜求める能力・人物像＞

本専攻では、以下の知識・技能等を有している学生を求めています。

一般選抜

教育課程の編成

学習指導要領および教育課程に関する基礎的な知識を有している人

子ども理解や指導方法

子ども理解に基づく適切な指導法について基礎的な知識を有している人

教師や学級、学校のあり方

教師の役割と学級経営や学校経営の意義について知識を有している人

地域の子どもとその教育

地域の教育課題について関心を有している人

教科指導

各教科の指導について基礎的な知識と技能を有している人

教育的な諸課題の探究

教育課題に関して強い探究心を有している人

現職教員選抜

教育課程の編成

学習指導要領および教育課程に関する基礎的な知識を十分に有している人

子ども理解や指導方法

子ども理解に基づく適切、かつ、きめ細やかな指導法について知識を有している人

教師や学級、学校のあり方

教師の役割と学級経営や学校経営の意義について十分な知識を有している人

地域の子どもとその教育

地域の教育課題について強い関心を有している人

教科指導

各教科の指導について高度な知識と技能を有している人

教育的な諸課題の探究

教育課題に関して教育実践に裏打ちされた強い探究心を有している人

現職教員選抜（学校マネジメント分野）

教育課程の編成

学習指導要領および教育課程に関する高度な知識を十分に有している人

子ども理解や指導方法

子ども理解に基づく適切、かつ、多様な指導法について高度な知識と技能を有している人

教師や学級、学校のあり方

教師の役割と学級経営や学校経営の意義について高度な知識を有している人

地域の子どもとその教育

地域の教育課題について強い関心と知識を有している人

教育的な諸課題の探究

教育課題に関して教育実践に裏打ちされた強い探究心と俯瞰する力を有している人

教育実践開発コース

＜育成目標＞

教育に関する高度な実践的専門性を有し、地域の学校の課題に即した学校改善・学級改善・授業改善の構想力・実践力、教育実践をリードする力を育成することを目標としています。

また、本コースの各分野で目指す教師像は次のとおりです。

学校マネジメント分野では、学校経営、学校安全と危機管理、学校改善などに関する力を有し、学校づくりをリードできる教員を育成することを目指しています。

教師力育成分野では、学校が抱える様々な問題を解決する力を有し、カリキュラム開発、教育臨床、異校種間の連携、地域との連携を実践する力を有する教員を育成することを目指しています。

＜試験区分別の入学者選抜の基本方針＞

専攻で定める＜求める能力・人物像＞で示す能力等を有する人を評価するため、以下の方法により選抜します。

一般選抜

口述試験、書類審査の結果を総合的に判断して、合格者を決定します。

現職教員選抜

本選抜は、３年以上の教職経験を有し、現に学校又は教育機関に専任として在職している人を対象に実施しています。口述試験、書類審査、口頭試問（学校マネジメント分野のみ）の結果を総合的に判断して、合格者を決定します。

教科領域実践開発コース

＜育成目標＞

小学校、中・高等学校の各教科において、質の高い教育内容研究・教材研究をもとにした授業の構想力・実践力、さらに教科横断・校種縦断に基づく高度な授業開発力を育成することを目標としています。

また、本コースの各分野で目指す教師像は次のとおりです。

初等教科教育分野では小学校の各教科等において、中等教科教育分野では中・高等学校の各教科等において、教科の目標・本質を踏まえ質の高い教材研究をもとに授業を開発し、それを適切に評価して改善に役立てることができる教員を養成する。さらに、教科横断・校種縦断に基づき、より高度な授業開発・実践・評価のできる教員を育成する。

＜試験区分別の入学者選抜の基本方針＞

専攻で定める＜求める能力・人物像＞で示す能力等を有する人を評価するため、以下の方法により選抜します。

一般選抜

口述試験、書類審査の結果を総合的に判断して、合格者を決定します。

現職教員選抜

本選抜は、３年以上の教職経験を有し、現に学校又は教育機関に専任として在職している人を対象に実施しています。口述試験、書類審査の結果を総合的に判断して、合格者を決定します。

目　　次

入学者受入方針（アドミッションポリシー）

募集要項

1　募 集 人 員…… 1
2　出 願 資 格…… 1
3　障害等のある入学志願者の事前相談 …… 2
4　出 願 手 続…… 2
5　受　験　票…… 6
6　選 抜 方 法…… 6
7　選抜の期日及び場所…… 7
8　不正行為に対する措置 …… 7
9　合格者の発表…… 7
10　合格者の発表後の提出書類…… 8
11　入 学 手 続…… 8
12　授　業　料…… 8
13　その他の経費…… 8
14　個人情報の取扱い …… 9
15　入学試験における感染症対応 …… 9

入学案内

1　履修基準及び単位数等 …… 10
2　修了要件及び学位の授与 …… 10
3　取得可能な教員免許状 …… 11
4　大学院設置基準に定める教育方法の特例措置…… 11
5　学部聴講及び学部聴講による教育職員普通免許状(一種又は二種)取得 …… 11
6　長期履修学生制度 …… 12
7　短期履修学生制度 …… 13
8　開設授業科目…… 14

山梨大学（甲府キャンパス）建物配置図及び周辺図
Web 出願利用ガイド

【問い合わせ先】

出願手続に関すること	教学支援部入試課	〒400-8510　山梨県甲府市武田４丁目４-37 電話：055-220-8046 E-mail：nyushi@yamanashi.ac.jp
選抜方法に関すること	教育学域支援課 教務グループ	〒400-8510　山梨県甲府市武田４丁目４-37 電話：055-220-8729 E-mail：e-kyoumu@yamanashi.ac.jp

窓口対応時間：平日（月～金）　8 時 30 分～12 時 00 分・13 時 00 分～17 時 15 分
＊ 土・日・祝日、年末年始(12/29～1/3)を除く。

募　集　要　項

1　募 集 人 員

専　　攻	コ ー ス	分　　野	募集人員
教育実践創成専攻	教育実践開発コース	学校マネジメント分野	若干名
		教師力育成分野	
	教科領域実践開発コース	初等教科教育分野	
		中等教科教育分野	

（注）学校マネジメント分野以外の志願者は、「教師力育成分野」、「初等教科教育分野」、「中等教科教育分野」の 3 分野から、希望する分野を出願時に選択すること。ただし、希望通りの配属が難しい場合があるので、第 1 希望に加え、必ず第 2 希望も選択すること。

2　出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する方で教育職員免許法（昭和 24 年法律第 147 号）に定める普通免許状（二種以上）を有する方又は令和 7 年 3 月までに取得する見込みの方に限る。

現職教員選抜に出願できる方は、令和 7 年 4 月 1 日現在で 3 年以上の教職経験を有し、現に学校又は教育機関に専任として在職している方に限る。

教育実践開発コース 学校マネジメント分野に出願できる方は、令和 7 年 4 月 1 日現在で 10 年以上の教職経験を有し、現に学校又は教育機関に専任として在職し、教育委員会の推薦を有する方に限る。

(1) 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 83 条に定める大学を卒業した方又は令和 7 年 3 月までに卒業見込みの方
(2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された方又は令和 7 年 3 月までに授与される見込みの方 (注 1)
(3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した方又は令和 7 年 3 月までに修了見込みの方
(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該国の学校における 16 年の課程を修了した方又は令和 7 年 3 月までに修了見込みの方
(5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされる方に限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方又は令和 7 年 3 月までに修了見込みの方
(6) 文部科学大臣が大学院の入学に関し、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方（昭和 28 年文部省告示第 5 号） (注 2)
(7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす方に限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方又は令和 7 年 3 月までに修了見込みの方
(8) 令和 7 年 3 月末現在において大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得した方と本学大学院が認めた方
(9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方で、入学の時点で 22 歳に達している方

（注 1）学位の取得見込みの方

修業年限 2 年の短期大学に置かれた修業年限 2 年の専攻科、修業年限 3 年の短期大学に置かれた修業年限 1 年の専攻科及び高等専門学校に置かれた修業年限 2 年の専攻科のいずれかであって、学位規則第 6 条第 1 項の規定に基づき大学改革支援・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定を行ったこれら専攻科を修了する見込みの方で、当該修了見込み年度内に学士の学位の授与を受けようとする方

（注 2）昭和 28 年文部省告示第 5 号(抄)

10 教育職員免許法（昭和 24 年法律第 147 号）による小学校、中学校、高等学校若しくは幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有し 22 歳に達した方

【注意事項】

「2　出願資格」の(8)・(9)のいずれかの資格により入学を志願しようとする方については、事前に出願の資格審査を行いますので、提出書類等について、令和 7 年 1 月 21 日（火）までに教学支援部入試課にお問い合わせください。

3　障害等のある入学志願者の事前相談

本学に入学を志願する方で、病気・負傷や障害等のために、受験上の配慮を必要とする方は、出願に先立ち、本学と事前相談を行ってください。

相談方法は、本学ホームページ（https://www.yamanashi.ac.jp/examination/3794）を参照してください。

受付期間：令和 7 年 1 月 21 日（火）まで

※希望する配慮の内容によっては、検討に時間がかかる場合もありますので、できるだけ早めに相談してください。なお、希望内容によっては対応できない場合がありますので、あらかじめご了承願います。

※受付期間を過ぎてからも相談に応じますが、希望内容によっては、出願時までの回答が難しい場合や希望内容に対応できない場合があります。

4　出 願 手 続

(1)　出願方法　※詳細は本要項掲載の「Web 出願利用ガイド」を確認してください。

Web 出願サイト（https://syutugan.yamanashi.ac.jp）にアクセスし、画面の案内に従って、出願情報等を登録してください。

(2)　出願期間

令和 7 年 2 月 3 日（月）～ 2 月 10 日（月）16 時 30 分まで　【出願期間内必着】

出願期間内に「Web 出願情報の登録」、「入学検定料の支払い」、「出願書類の印刷・作成・提出」の全てを完了してください。いずれか 1 つでも完了していない場合は、出願を受理することはできません。

(3)　入学検定料の支払い

入学検定料　30,000 円　（別途必要な手数料は志願者負担となります。）

・Web 出願サイトの「検定料の支払い」で、以下の①～④から支払方法を選択の上、お支払いください。
　①クレジットカード、②コンビニエンスストア、③金融機関 ATM(Pay-easy)、④ネットバンキング

・**クレジットカード以外の支払方法は、入金確認に 2 時間程度かかります。**
　（入金が確認されないと次の出願書類の印刷に進むことができませんので注意してください。）

・海外から出願する場合の支払方法はクレジットカードのみです。

・**出願受理後は、いかなる理由があっても、既納の入学検定料は返還できません。**

【入学検定料の免除】

・対 象 者：次の災害に被災された方に対し、入学検定料免除の特別措置を行います。

東日本大震災、平成 28 年熊本地震、平成 30 年 7 月豪雨、平成 30 年北海道胆振東部地震、令和元年台風第 15 号及び第 19 号、令和 2 年 4 月以降に発生した災害救助法の適用となる災害

・必要書類：本学ホームページ(https://www.yamanashi.ac.jp/examination/3787)を確認してください。

・受付期間：出願期間開始日の 1 ヶ月前～出願期間開始日の前日

(4) 出願書類

・出願書類には、各自が準備する書類と Web 出願サイトから印刷して提出する書類があります。

・本学所定の様式は、本学ホームページ（https://www.yamanashi.ac.jp/admission/45）からダウンロードしてください。（出願期間前からダウンロード可能）

・作成方法は、指定がないものについては自筆・パソコンを問いません。

・**写し（コピー）の提出を認めた書類を除き、原本を提出してください（海外在住の方は除く）。**
なお、原本を提出できない場合（出身学校等が卒業証明書や成績証明書等を卒業(修了)時に 1 度発行するだけで、以降証明書を発行していない場合等)は、出願期間開始日の前日までに教学支援部入試課へ相談してください。

・出願資格審査が認定された方は、出願資格審査時に提出した書類を再提出する必要はありません。

・外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳（様式任意。作成者は問わない。）を添付してください。

提出書類	提出該当者	摘　　要
成 績 証 明 書	全　　員	出身大学長等が発行した、最終学歴のものを提出してください。
卒業(修了)証明書又は 卒業(修了)見込証明書	「2　出願資格」 (1)、(2)、(3)、(5)、(7) の該当者(注)	出身大学等の学長又は学部長が作成したものを提出してください。 大学卒業後に専攻科を修了した方又は在籍中の方は、「2 出願資格」(1)に該当する卒業（見込）証明書を提出してください。 **※本学を卒業見込の方は提出不要**
学位授与証明書	「2　出願資格」(2) の該当者(注)	大学改革支援・学位授与機構が発行したものを提出してください。
教育職員免許状授与証明書 又は 教育職員免許状の写し	現職教員	免許状を授与した都道府県教育委員会が発行したものを提出してください。
教育職員免許状授与証明書 又は 教育職員免許状の写し 又は 免許状取得見込証明書	現職教員以外の方	免許状を授与した都道府県教育委員会が発行したものを提出してください。ただし、「教育職員免許状の写し」を提出する場合は、原本と相違ない旨の所属長又は所轄長の証明が必要です。 免許状を取得見込みの方は、大学等が証明した【免許状取得見込証明書】を提出してください。
履　　歴　　書	全　　員	Web 出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【履歴書】を提出してください。

志 望 理 由 書	全　　員	本学ホームページから【志望理由書】を印刷し、内容を記入の上、提出してください。 志望理由書の内容は、専攻の志望動機及び2年間の目標(身に付けたい力量、解決したい課題など)をまとめてください。 ※学校マネジメント分野の志願者で短期履修学生制度の申請を希望する方は、短期履修学生制度を希望する理由も具体的に記入してください。
受 験 承 諾 書	現職教員及び 社会人の方 (受験に際して 所属機関の承諾を 必要とする方)	本学ホームページから【受験承諾書】を印刷し、必ず所属長(学校長等)が承諾したものを提出してください。また、山梨県教育委員会が発行した受験承諾書がある方は、山梨県教育委員会が発行した受験承諾書も提出してください。 ※学校マネジメント分野の志願者で短期履修学生制度の申請を希望する方は、短期履修学生制度申請者用の受験承諾書を提出してください。学校マネジメント分野以外の志願者の方は、学校マネジメント分野以外用の受験承諾書を提出してください。
これまでの 教育実践の概要	現職教員 (学校マネジメント 分野の志願者以外)	本学ホームページから【これまでの教育実践の概要】を印刷し、2,000字程度で内容を記入の上、提出してください。 併せて、これまでの教育実践を証明できるもの(学会誌の論文、各種研究会の実践報告や資料、学級通信などの日常的な教育実践資料など **3点まで**。コピー・写真可)を添付してください。
研究業績調書 職務実績調書 教育委員会による推薦書	現職教員 (学校マネジメント 分野の志願者)	本学ホームページから各書類を印刷し、内容を記入の上、提出してください。
住　民　票　等	国籍が日本国 以外の方	・日本国内在住の方 住居地の市区町村長が交付する【住民票(国籍、在留資格及び在留期間が明記されたもの)】、又は【在留カードの写し(両面)】を提出してください。 ・海外在住の方 【旅券の写し(顔写真が掲載されているページ)】を提出してください。
戸　籍　抄　本	該 当 者	改姓等により各証明書等の氏名が異なる場合は提出してください。

(注)「2　出願資格」(2)に該当する方で学位取得見込みの方は次のものを提出してください。

① 在籍する短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科の修了見込証明書

② 在籍する短期大学長又は高等専門学校長による学士の学位の授与を申請する予定である旨の証明書

【入学者選抜における生成AIの取扱いについて】

山梨大学では、学生に対して、ChatGPT などの生成 AI について使用上の注意喚起を行っています。

生成 AI はユーザからの問いに対して常に正しい回答を返すわけではありません。また、生成 AI はインターネット上のデータを学習して文章等を生成するため、生成された文章等を自分の作成物として扱うことは、剽窃や著作権侵害のリスクがあります。さらに生成 AI に入力した情報は、AI の学習に利用される可能性もあり、意図せず個人情報や研究情報の漏洩につながる恐れがあります。

入学者選抜において、出願時に自ら作成して提出する書類（志望理由書、研究計画書など）は、本学への適性や能力を確認するために大変重要なものです。よって、生成 AI により生成された文章等をそのまま使用することは一切認められません。判明した場合は、不正行為とみなし合格を取り消します。

出願書類の作成に当たっては、本学のアドミッションポリシーを確認し、不正が疑われたり、入学後に学修上のミスマッチが起きたりしないよう、受験生が自分で考え作成した成果物を提出してください。

(5)　出願書類等の提出方法

Web 出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」にある【出願書類等チェックリスト（提出不要）】で出願書類がすべて揃っているか最終確認してください。

①　日本国内在住の方

Web 出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【封筒貼付票】を市販の角形 2 号封筒（24cm×33.2cm）に貼付の上、出願書類を封入してください。

郵送する場合は、郵便局窓口から簡易書留速達にて、必ず出願期間内に本学へ到着するように郵送してください。

持参する場合は、出願期間中の **9 時から 16 時 30 分**（正午から 13 時を除く）の間に教学支援部入試課窓口に提出してください。（土・日・祝日を除く）

②　海外在住の方

海外在住の方に限り電子ファイルでの書類提出を認めます。p.3(4)出願書類の項目を参照し、必ず申請期間内に必要な提出書類を電子ファイル（PDF）で教学支援部入試課(E-mail：nyushi@yamanashi.ac.jp)へ送信してください。

なお、入学後、本学登校初日から 1 週間以内(厳守)に、教育学域支援課教務グループ窓口へ出願書類の原本を提出してください。電子ファイルに改ざん等の虚偽が発覚した場合、入学許可自体を取り消すことがあります。

(6)　出願書類等の郵送先・問い合わせ先

山梨大学教学支援部入試課
〒400-8510　甲府市武田 4 丁目 4-37
電話：055-220-8046　E-mail：nyushi@yamanashi.ac.jp

【出願書類の提出に際しての留意事項】

①　出願内容（Web 出願情報・出願書類等）に不備がある場合は、受理しないことがあります。
②　出願受理後は、いかなる理由があっても、出願内容の変更は認めません。（住所等の連絡先の変更は除く。）また、出願書類の返却もできません。
③　出願内容が事実と相違していた場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
④　出願手続等に不明の点がある場合は、教学支援部入試課へお問い合わせください。

5 受　験　票

各自で、Web 出願サイトから印刷し、試験当日に必ず持参してください。

印刷可能通知：出願期間終了日から土・日・祝日を除く 3 日後までにメールで通知 印刷可能期間：印刷可能通知の受信日から令和 7 年 3 月 31 日 印　刷　方　法：Web 出願サイト ＞ マイページ ＞ 受験票 から印刷 （A4 サイズの白紙、倍率 100%、カラー印刷）

・上記期日を過ぎても受験票が印刷できない場合は、教学支援部入試課へお問い合わせください。

・受験票には、Web 出願サイトに登録された氏名を使用します。

・受験票を紛失・汚損等した場合は、Web 出願サイトから再度印刷してください。

6 選 抜 方 法

入学者の選抜にあたっては、口述試験、書類審査、口頭試問（学校マネジメント分野のみ）の結果を総合的に判断して、合格者を決定します。

コ　ー　ス	分　　野	項目(配点)
教育実践開発コース	学校マネジメント分野	口述試験・口頭試問（200） 書類審査（100）
	教師力育成分野	口述試験（200） 書類審査（100）
教科領域実践開発コース	初等教科教育分野	
	中等教科教育分野	

・教育実践開発コース 学校マネジメント分野

選　　抜	項　　目	内　　容
現職教員選抜	口述試験	志望理由、現在の学校教育の課題、学校改善・授業改善に関する課題等について、志望理由書に基づいて試問します。
	口頭試問	学校経営、組織マネジメントに関わる分野について、研究業績調書及び職務実績調書に基づいて試問します。

・教育実践開発コース 教師力育成分野 及び 教科領域実践開発コース

選　　抜	項　　目	内　　容
一般選抜	口述試験	志望理由、現在の学校教育の課題、学校改善・授業改善に関する課題等について、志望理由書に基づいて試問します。
現職教員選抜	口述試験	志望理由、現在の学校教育の課題、学校改善・授業改善に関する課題等について、志望理由書、これまでの教育実践の概要に基づいて試問します。

7　選抜の期日及び場所

(1)　期日：**令和７年２月 28 日（金）**

・教育実践開発コース 学校マネジメント分野

選抜	試験科目	試験時間	集合時刻	集合場所
現職教員選抜	口頭試問	14：00 ～	13：40 まで	M 号館 1 階 M-12 教室（甲府西キャンパス）
	口述試験	口頭試問後		

・教育実践開発コース 教師力育成分野 及び 教科領域実践開発コース

選抜	試験科目	試験時間	集合時刻	集合場所
一般選抜	口述試験	9：30 ～ 12：00	9：10 まで	M 号館 1 階 M-12 教室（甲府西キャンパス）
現職教員選抜	口述試験	14：00 ～ 17：00	13：40 まで	

（注）遅刻した場合は、原則として試験開始後 30 分以内に限り受験を認めます。

(2)　場所：山梨大学 甲府西キャンパス（甲府市武田 4 丁目 4-37）

指定された集合時刻までに、甲府西キャンパス M 号館 1 階の M-12 教室（8：40 開場）に集合してください。試験室は当日集合場所で案内します。

8　不正行為に対する措置

次の不正行為を行った場合、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以降の受験はできなくなります。また、受験した全ての試験の成績を無効とします。

(1) Web出願情報、出願書類等へ故意に虚偽の記入（Web出願サイトに本人以外の顔写真を登録すること等）をすること。
(2) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
(3) 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信、アラーム、振動音など）を長時間鳴らす等、試験の進行に影響を与えること。
(4) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
(5) 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
(6) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

9　合格者の発表

日　時：**令和７年３月 13 日（木）16 時頃**

・本学ホームページ（https://www.yamanashi.ac.jp/examination_list）に合格者の受験番号を掲載しますが、最終的な確認は合格通知書で行ってください。
・大学構内での掲示は行いません。また、電話等による合否の問い合わせには応じません。
・合格者発表当日、合格者に合格通知書を発送します。

10　合格者の発表後の提出書類

以下の書類に必要事項を記入し、令和７年３月 24 日（月）までに教育学域支援課教務グループへ持参又は郵送してください。なお、合格通知書に同封して送付する書類と、以下 URL からダウンロードする書類があります。

・教育学部・教育学研究科ホームページ（https://www.edu.yamanashi.ac.jp/tgs/2296/#A1）

(1) 入学確約書
合格者のうち入学を確約できる方は、「入学確約書」を提出してください。

(2) 令和７年度実習に関わる事前調書
合格者全員、「令和７年度 実習に関わる事前調書」を提出してください。

(3) 長期履修学生申請書
合格者のうち長期履修学生制度を希望する方は、「長期履修学生申請書」を提出してください。
長期履修学生制度については、p.12~13 を参照してください。

(4) 教員免許状（一種又は二種）取得申請書
合格者のうち教員免許状（一種又は二種）取得を希望する方は、「教員免許状（一種又は二種）取得申請書」を提出してください。

(5) 合格者の発表後の提出書類に関する問い合わせ先
山梨大学教育学域支援課教務グループ　　〒400-8510　甲府市武田４丁目 4-37
電話：055-220-8729

11　入 学 手 続

(1) 入学手続期間：**令和７年３月 22 日（土）～ ３月 27 日（木）**

① 入学手続の詳細については、別途通知します。

② 上記の入学手続期間内に入学手続を完了しなかった方は、本学への入学の意志がなく入学を辞退したものとして取り扱います。

(2) 入学料：282,000 円

・予定額であり、改定を行う場合があります。

・既納の入学料は、いかなる理由があっても返還できません。

12　授　業　料

前期分　267,900 円〔年額　535,800 円〕

・予定額であり、改定を行う場合があります。

・原則、口座引き落としとなります。手続については別途通知します。

13　その他の経費

学生教育研究災害傷害保険料等の経費が必要です。

14　個人情報の取扱い

「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人山梨大学の保有する個人情報の保護に関する規則」に基づき、次のとおり取り扱います。

(1) 選抜実施において取得した個人情報は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務、④統計調査、⑤志願動向の分析や今後の入学者選抜方法検討や、大学教育の改善に関する調査・分析、⑥合格者に対する入学前教育及び入学前イベントを行うために利用します。なお、これらの調査・分析結果を公表する際は、個人が特定されないような形に処理します。

(2) 入学者については、知り得た個人情報を①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除、奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

(3) 上記業務の利用にあたり、一部の業務を本学から当該業務の委託を受けた業者（受託業者）において行うことがあります。この場合、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

(4) 個人情報及びプライバシー情報保護のため、本選抜実施において取得した個人情報は、それが記載された書類及びデータ自体のいずれの形においても、厳重に秘匿され、上記の目的以外での利用は行わないことに加え、法令等により開示を求められた場合等を除き、第三者に開示することもありません。

15　入学試験における感染症対応

本学では、入学試験当日において、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、水痘など）に罹患した場合、出席停止の期間中は他の受験者や監督者等への感染のおそれがあるため受験できません。感染症に関わる出席停止の期間の基準については、学校保健安全法施行規則第 19 条を参照してください。

なお、受験できない場合の追・再試験や別室受験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いませんので、万全の状態で試験当日を迎えられるよう、体調管理には十分注意してください。

入　学　案　内

1　履修基準及び単位数等

(1)　単　位　数

科目区分	教育実践開発コース		教科領域実践開発コース	
	学校マネジメント分野	教師力育成分野	初等教科教育分野	中等教科教育分野
共通必修科目	12 単位			
分野必修科目	8 単位	6 単位		
分野選択科目	12 単位			
課 題 研 究	4 単位	6 単位		
実　　習	10(5)単位※	10 単位		
単位数合計	46(41)単位※	46 単位		

※ 学校マネジメント分野の（ ）の単位数は、修業年限が 1 年と認められた（短期履修制度）学生の単位数です。

(2)　時限と時間

時　　限	時　　間
Ⅰ	9：00 ～ 10：30
Ⅱ	10：40 ～ 12：10
	昼休み
Ⅲ	13：10 ～ 14：40
Ⅳ	14：50 ～ 16：20
Ⅴ	16：30 ～ 18：00
Ⅵ	18：10 ～ 19：40

(3)　履修単位数の上限

教職大学院の課程専門科目の履修単位数の上限は、年間合計 30 単位とします。なお、1 学期毎の上限は 20 単位とします。

2　修了要件及び学位の授与

(1)　教育実践開発コース 学校マネジメント分野

当該課程に 2 年以上在学し、教育学研究科規則に定める授業科目を 46 単位以上（実習 10 単位を含む）修得した方には、教職修士（専門職）の学位を授与します。ただし、現職教員としての実務の経験を有する方のうち所定の基準を満たした方の修了要件は、当該課程に 1 年以上在学し、教育学研究科規則に定める授業科目を 41 単位以上（実習 5 単位を含む）修得することとします。

(2)　教育実践開発コース 教師力育成分野及び教科領域実践開発コース

当該課程に 2 年以上在学し、教育学研究科規則に定める授業科目を 46 単位以上（実習 10 単位を含む）修得した方には、教職修士（専門職）の学位を授与します。

3　取得可能な教員免許状

小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭一種免許状を有する方は、本研究科における基準に基づき、教育職員免許法及び同法施行規則に定める単位を修得することにより、それぞれに対応する専修免許状を取得することができます。取得できる教員免許状の種類及び教科は次のとおりです。

種　　類	教科（領域）
小学校教諭専修免許状	
中学校教諭専修免許状	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語
高等学校教諭専修免許状	国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、保健体育、家庭、英語、書道

4　大学院設置基準に定める教育方法の特例措置

現職教員等が高等教育を受ける機会を拡大するため、現職教員等に対して出願時の申請に基づき大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例措置を次のとおり実施します。

(1) 特例措置の適用を認定された方は、修業年限の前半 1 年間を研究科における研究と授業に専念します。この期間における履修単位数は、39 単位以上とします。

(2) 後半の 1 年間は、在職校でその勤務と教育実践研究とを並行し、研究科の指定した日に登校して研究指導を受けるとともに、定められた科目の履修を行います。

(3) 特例による授業は、現職教員等の勤務様態を勘案し、集中講義等を開設します。

(4) 特例措置の適用を認定された方は、1　履修基準及び単位数等の(3)にある履修単位数の上限を超えて履修することができます。その際、指導教員の指導のもとに履修を計画し、書面（教育方法の特例による授業科目履修願）をもってその旨を研究科長に願い出て、その承認を受ける必要があります。

5　学部聴講及び学部聴講による教育職員普通免許状（一種又は二種）取得

教育学部で開講されている授業科目の聴講を希望する場合は、指導教員の承諾を得て、各学期初めに申請を行い、研究科委員会において承認を得た場合のみ履修することができます。ただし、修得した単位は修了要件に含めることはできません。

なお、教員免許状（一種又は二種）取得のために学部聴講を行う場合は、以下のとおりとなります。

(1)　概要

大学院で学びながら、教育学部で開設している教育職員免許状の取得資格を得るための授業科目を履修し、所定の単位を得ることで、一種又は二種免許状の取得が可能となります。さらに、大学院で所定の単位を修得することにより、専修免許状を取得することもできます。学部レベルの教員養成カリキュラムを受講しながら、同時に修士レベルの高度な教育実践力及び専門的知識の習得を目指すことができます。

なお、この学部聴講による教員免許取得については、大学院での研究活動に支障を生じない範囲で認められます。

(2)　取得できる教員免許状について

取得できる免許状は、本学教育学部で課程認定を受けているものとなります。入学時に保有している免許状とは異なる校種の免許状取得を希望する場合は、取得できる免許状の数は、原則として 1 校種のみとします。ただし、同一教科の中学校、高等学校の場合は 2 校種も可とします。なお、本人が所有する免許状を二種から一種にする場合は、1 校種のみという制限はありません。

(3)　在学期間

教員免許状の取得を希望する場合は、長期履修制度により 3 年以上の長期履修となります。ただし、入学前に履修し終えている科目の単位数によっては、在学期間が 2 年で修了することができる場合があります。（長期履修制度については「6 長期履修学生制度」参照）

(4)　申請 及び 履修方法

教職大学院で学部聴講による教員免許状（一種又は二種）の取得を希望する場合は、入学前に申請を行います。各自希望する教員免許状の取得に必要な単位数を本学教育学部の履修規程等で確認してください。その上で、本学において単位の共有や読み替え等が可能であるかの判断を行い、計画的な履修が見込める場合は学部聴講による教員免許取得を認めます。この判断のために、3 月までに事前ガイダンスを行います。

(5)　学部聴講による教育実習について

教員免許状を取得するために、学部の教育実習の単位が必要な場合は、大学院生本人が母校等に教育実習の受け入れをお願いし、実習に行くことになります。

(6)　授業料

授業料については、在籍期間分の授業料を支払うことになります。学部聴講科目の授業料は徴収しません。長期履修制度が適用された場合の授業料については、「6　長期履修学生制度」を参照してください。

詳細は、教育学域支援課教務グループ（電話：055-220-8729）にお問い合わせください。

6　長期履修学生制度

この制度は、職業を有していること等により修学が困難な場合又は学部聴講による教員免許状の取得を希望し認められた場合、標準修業年限（2 年）を超えて、一定期間にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することができるものです。履修すべき総単位数は、2 年で修了するものと同じであることから、単年度の時間的負担は軽減されることになります。

ただし、長期履修学生として認められるためには、入学時又は 1 年次の 2 月に山梨大学長に必要書類を添付の上、申請して許可を得ることが必要となります。

長期履修学生として認められますと、通常 2 年の大学院修了年限のところを、例えば 3 年間で修了することができます。この間の授業料は、2 年分を 3 年に分割して納入することになります。すなわち 2 年間（4 学期）の授業料 1,071,600 円（年間 535,800 円）を 3 年間（6 学期）に分割して納めていただくために、年あたりの負担額は 357,200 円（毎学期 178,600 円）と少なくなります。なお、職業を有している等の理由による場合は最大 4 年とし、免許状取得の場合は最大 3 年とします。

また、状況の変化により長期履修期間で修了できない場合には、その長期履修期間を含めて 6 年まで在学できます。このうち長期履修期間を超えた期間については留年扱いとなり、通常の授業料が適用されることになります。また、在学中に新規申請したり、許可された長期履修期間を 1 回に限り延長（3 年を 4 年に）又は短縮（4 年を 3 年に）することもできます。

詳細は、教育学域支援課教務グループ（電話：055-220-8729）にお問い合わせください。

授業料納入方法例

<table>
<tr><td>修業年限</td><td colspan="4">授業料総額　1,071,600 円</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2 年〔通常〕
（4 学期）</td><td colspan="2">1 年目</td><td colspan="2">2 年目</td></tr>
<tr><td colspan="2">535,800 円</td><td colspan="2">535,800 円</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3 年
（6 学期）</td><td>1 年目</td><td colspan="2">2 年目</td><td>3 年目</td></tr>
<tr><td>357,200 円</td><td colspan="2">357,200 円</td><td>357,200 円</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4 年
（8 学期）</td><td>1 年目</td><td>2 年目</td><td>3 年目</td><td>4 年目</td></tr>
<tr><td>267,900 円</td><td>267,900 円</td><td>267,900 円</td><td>267,900 円</td></tr>
</table>

※ 令和６年度の授業料年額により計算されたものです。
※ 授業料が改定された場合は、改定後の金額を基に再計算されます。

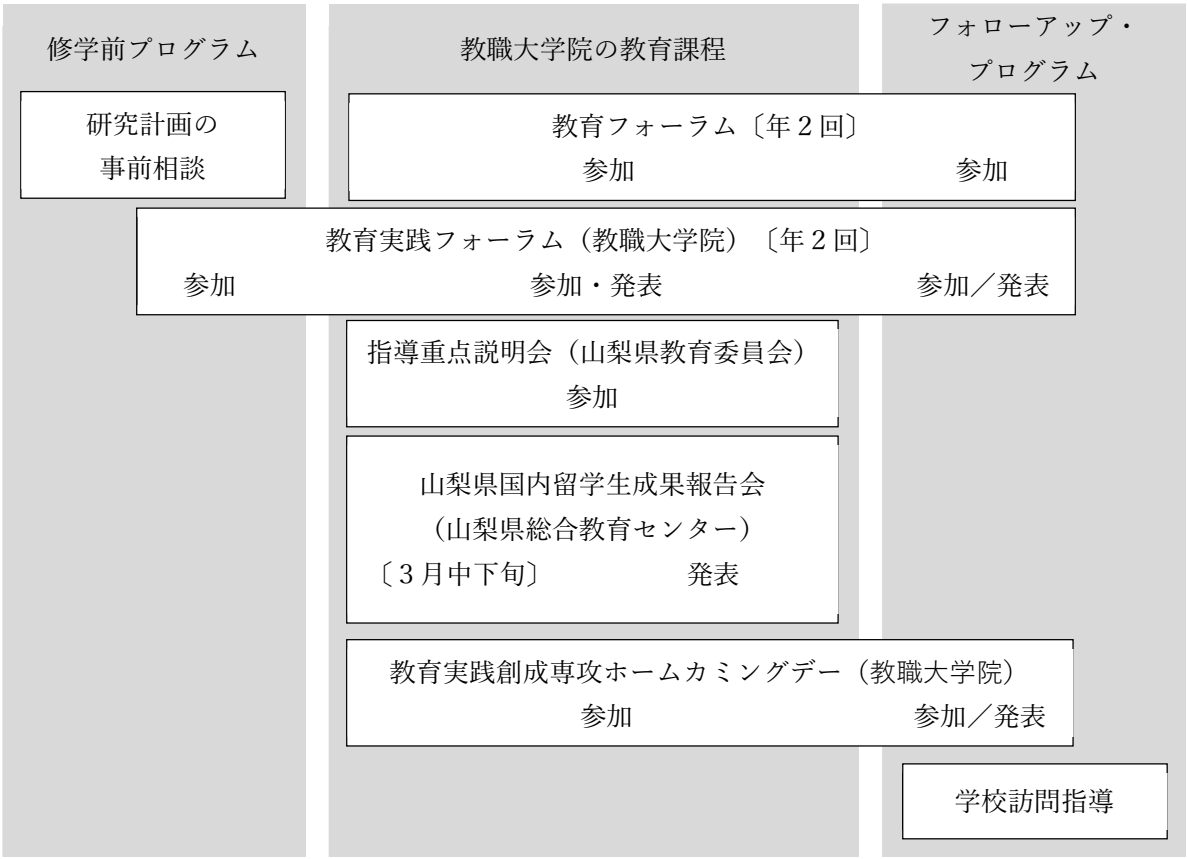
7　短期履修学生制度
（教育実践開発コース 学校マネジメント分野志願者対象）

短期履修学生制度は、厳正な審査により認められた方が、１年間の履修によって修了することができるものです。

この制度の審査は、出願書類により行います。短期履修が認められた場合は、実習Ｉの５単位が免除となり、１年間の履修計画を立てて、短期履修学生として在籍します。授業料は１年間分のみとなります。また、修了生の資質を保証するため、短期履修学生には次の３つを課します。

(1) 教職大学院修学前プログラムの受講・・・入学後の円滑な修学を保証するもの。
(2) 実習Ｉ（5 単位）代替レポートの提出・・・入学前の実績と前期までの修学を通じて学校マネジメント分野としての十分な学修成果を短期履修で保証できるか確認するもの。
(3) 教職大学院フォローアップ・プログラムの受講・・・理論と実践の融合を定着させ、学び続ける教師像として職務に一層取り組むことができるように保証するもの。

※ 短期履修学生には最低１年間のフォローアップが義務づけられます。



詳細は、教育学域支援課教務グループ（電話：055-220-8729）にお問い合わせください。

8　開設授業科目

【科目分類記号】

◎：共通必修科目

○：分野必修科目

△：分野選択科目（教科領域実践開発コースの＊の授業科目は１科目まで分野選択科目の単位に含むことができる）

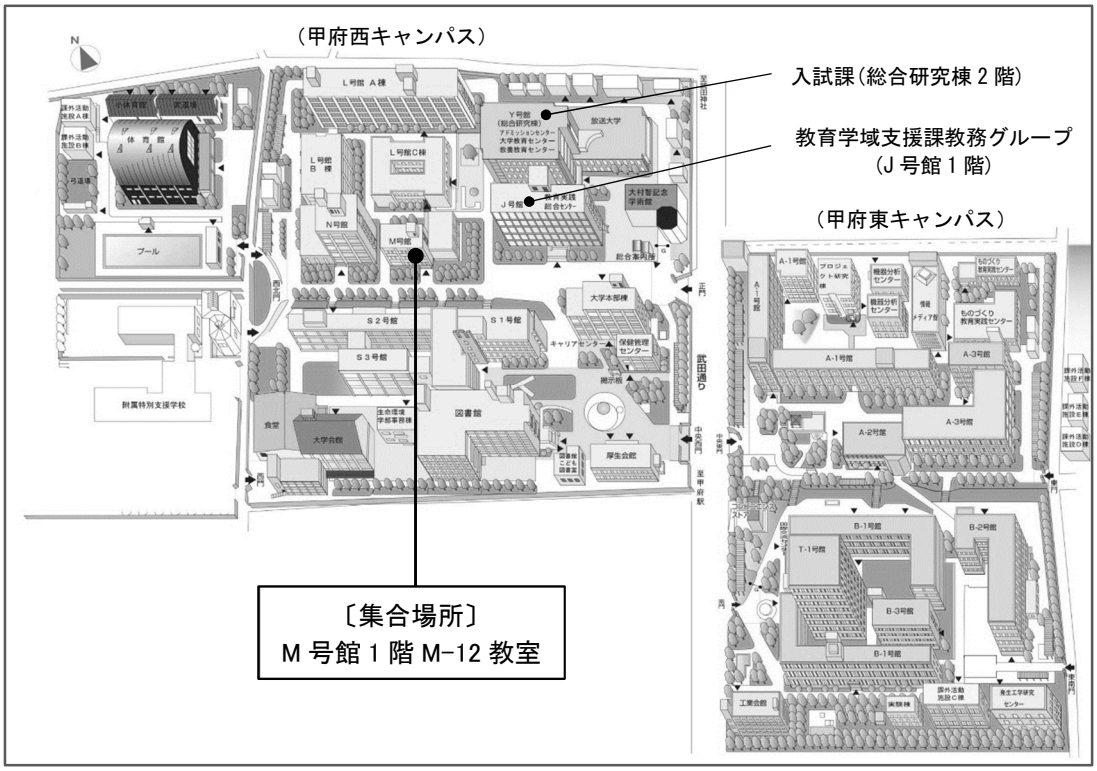
◇：実習科目

☆：課題研究科目

区分		科目名	単位	科目分類				備考
				教育実践開発コース		教科領域実践開発コース		
				学校マネジメント分野	教師力育成分野	初等教科教育分野	中等教科教育分野	
共通5領域	教育課程の編成・実施	教育課程の内容と編成	2	◎	◎	◎	◎	
		特別の教育課程	2	△	△			
		小学校における接続期カリキュラムの実践と課題	2	△	△			
		初等教科横断型・総合型プロジェクト実践論	2			○		
		中等教科横断型・総合型プロジェクト実践論	2				○	
	教科等の実践的な指導方法	道徳教育の理論と実践	2	△	△			
		授業研究マネジメント論	2	△	○	○	○	
		情報教育・ICT 活用の理論と実践	2	◎	◎	◎	◎	
		障害児の指導法	2		○			
		エビデンスに基づく教育支援	2	△				
	生徒指導・教育相談	発達障害児の心理	2	◎	◎	◎	◎	
		教育相談・生徒指導論	2	△	○	○	○	
		インクルーシブ教育	2	△	△			
		子どもエンパワーメント論	2		△			
	学級経営・学校経営	学校・学級文化の創造と学級経営	2	◎	◎	◎	◎	
		学校安全と危機管理	2	○	△			
		教育法規とコンプライアンス	2	○				
		学校改善論	2	○				
		学校組織経営論	2	○				
	学校教育と教員の在り方	現代学校・教師論	2	◎	◎	◎	◎	
		教育政策の理論と実践	2	△	△			
独自領域		教育・地域課題挑戦プロジェクト実践論	2	◎	◎	◎	◎	
		山梨の学校改革	2	△	△			
		教職実践高度化演習	2	×	△	△	△	

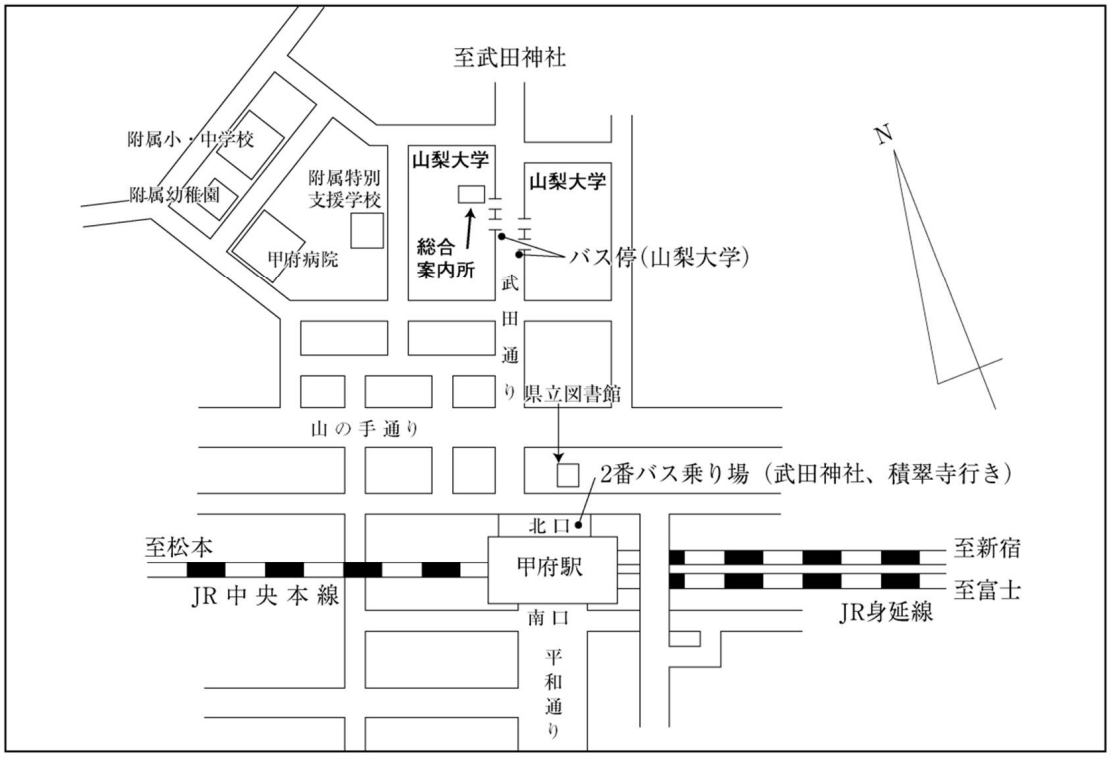
教科選択領域	教科の本質と目標･内容構成	国語科の本質と目標･内容構成	2			△	△	○初等教科教育分野では、同一教科の「各教科の本質と目標・内容構成」の科目と、「初等の各教科の教材研究と授業構想」の科目の２科目を選択し、教科選択領域から分野選択科目として合わせて6科目（計 12 単位）以上修得すること。 ○中等教科教育分野では、同一教科の「各教科の本質と目標・内容構成」の科目と、「中等の各教科の教材研究と授業構想」の科目の２科目を選択し、教科選択領域から分野選択科目として合わせて6科目（計 12 単位）以上修得すること。
		社会科の本質と目標･内容構成	2			△	△	
		数学科の本質と目標･内容構成	2			△	△	
		理科の本質と目標･内容構成	2			△	△	
		音楽科の本質と目標･内容構成	2			△	△	
		図画工作科･美術科の本質と目標･内容構成	2			△	△	
		体育科･保健体育科の本質と目標･内容構成	2			△	△	
		技術科の本質と目標･内容構成	2				△	
		家庭科の本質と目標･内容構成	2			△	△	
		英語科の本質と目標･内容構成	2			△	△	
	初等教科の教材研究と授業構想	初等国語科の教材研究と授業構想	2			△	＊	
		初等社会科の教材研究と授業構想	2			△	＊	
		初等数学科の教材研究と授業構想	2			△	＊	
		初等理科の教材研究と授業構想	2			△	＊	
		初等音楽科の教材研究と授業構想	2			△	＊	
		初等図画工作科の教材研究と授業構想	2			△	＊	
		初等体育科の教材研究と授業構想	2			△	＊	
		初等家庭科の教材研究と授業構想	2			△	＊	
		初等英語科の教材研究と授業構想	2			△	＊	
	中等教科の教材研究と授業構想	中等国語科の教材研究と授業構想	2			＊	△	
		中等社会科の教材研究と授業構想	2			＊	△	
		中等数学科の教材研究と授業構想	2			＊	△	
		中等理科の教材研究と授業構想	2			＊	△	
		中等音楽科の教材研究と授業構想	2			＊	△	
		中等美術科の教材研究と授業構想	2			＊	△	
		中等保健体育科の教材研究と授業構想	2			＊	△	
		中等技術科の教材研究と授業構想	2			＊	△	
		中等家庭科の教材研究と授業構想	2			＊	△	
		中等英語科の教材研究と授業構想	2			＊	△	
実習領域		実習Ⅰ(教育臨床実習)	5	◇	×	×	×	
		実習Ⅱ(学校･行政マネジメント実習)	5	◇	×	×	×	
		小学校実習Ⅰ(課題発見実習)	5	×	◇	◇	×	1科目選択必修（教師力育成分野のみ）
		中･高等学校実習Ⅰ(課題発見実習)	5	×	◇	×	◇	
		小学校実習Ⅱ(課題達成実習)	5	×	◇	◇	×	1科目選択必修（教師力育成分野のみ）
		中･高等学校実習Ⅱ(課題達成実習)	5	×	◇	×	◇	
		教職応用実習	3	×				
課題研究領域		課題研究Ⅰ	2	☆	☆	☆	☆	
		課題研究Ⅱ	2	☆	☆	☆	☆	
		課題研究Ⅲ	2	×	☆	☆	☆	

山梨大学（甲府キャンパス）建物配置図



山梨大学（甲府キャンパス）周辺図

JR甲府駅下車、北口から徒歩約15分
JR甲府駅下車、北口からバス（「武田神社」又は「積翠寺」行き）で約5分「山梨大学」下車



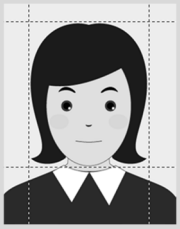
構内には駐車場がありませんので、電車、バス等の公共交通機関を利用してください。

Web 出願利用ガイド

出願期間内にWeb出願情報の登録、入学検定料の支払い、出願書類の提出 のすべてを完了してください。
いずれか1つでも完了していない場合は出願を受理することはできません。

① 事前準備（用意するもの）

- インターネットに接続されたパソコン、スマートフォン、タブレット等
- PDF ファイルを開くためのアプリケーション（アドビ社の Adobe Acrobat Reader を推奨）
- A4 サイズの印刷が可能なプリンター
  自宅にプリンターがない場合は、学校や図書館などの公共施設のプリンターや
  コンビニエンスストアのプリントサービスを利用してください。
- 「@yamanashi.ac.jp」からの受信が可能なメールアドレス
- 出願書類
- 市販の角形 2 号封筒（24 ㎝×33.2 ㎝）
- 証明写真（顔写真）データ
  試験当日の本人確認で利用しますので、明暗以外は無加工の写真を準備してください。
  なお、試験時間中に眼鏡をかける方は、眼鏡をかけて撮影した写真を準備してください。
  ・試験日 3 ヶ月以内に単身で撮影したもの。
  ・証明写真機（写真データのダウンロードができるもの）やデジタルカメラ、スマートフォン、タブレットで撮影したもの。
  ・全体に対する顔の比率は、上下左右が上記の例の点線程度になっているもの。
  ・カラー写真、上半身・正面、無帽、無背景、枠なしであること。
  ・写真サイズは、縦 800px×横 600px 以上（縦横比 4：3）、3MB 以内であること。
  ・ファイル形式は、JPEG であること。（ファイル拡張子は jpg）


（良い顔写真の例）

② メールアドレスの登録

Web 出願サイト（https://syutugan.yamanashi.ac.jp）にアクセスし、「新規利用者登録」からメールアドレスを登録してください。登録後すぐにメールが届きますので、本文の案内に従い 30 分以内に次の手順に進んでください。

③ 利用者情報の登録（いつでも登録できます）

画面の案内に従って個人情報を常用漢字（JIS 第 1 水準・第 2 水準）で登録してください。
出願から入学までの間、本学からの通知を志願者本人が確実に受信できる連絡先（メールアドレス、住所、電話番号等）を登録してください。出願後に変更が生じた場合は、速やかに教学支援部入試課へ連絡してください。

④ 出願情報の登録（出願期間中のみ登録できます）

Web 出願サイト＞マイページ＞新規出願から、画面の案内に従い登録してください。

⑤ 入学検定料の支払い

Web 出願サイト＞マイページ＞検定料の支払いから、画面の案内に従いお支払いください。

⑥ 出願書類の提出

出願書類を作成・印刷し、原則、郵便局窓口から簡易書留速達郵便で教学支援部入試課へ郵送してください。

⑦ 出願の受理

出願書類が受理されたら出願完了です。受験票の発行通知をお待ちください。
（出願期間終了日から土・日・祝日を除く 3 日後までにメールで通知します。）

＊Web 出願に関する問い合わせ先

山梨大学教学支援部入試課
電話：055-220-8046　　E-mail：nyushi@yamanashi.ac.jp

教育学研究科教育実践創成専攻

受験番号 ※大学側で記入します

志　望　理　由　書

ふりがな	
氏　　名	

志望動機

（注）１　**両面印刷**で出力して、提出してください。

２　紙面が不足する場合は、Ａ４判用紙で書き足してください。　（裏面あり）

２年間の目標（身に付けたい力量、解決したい課題などについて記入してください。）

※学校マネジメント分野の志願者で短期履修学生制度の申請を希望する方は、希望する理由も具体的に記入してください。

教育学研究科教育実践創成専攻
（**学校マネジメント分野以外**）

受験番号 ※大学側で記入します

令和　　年　　月　　日

山梨大学大学院
　教育学研究科長　殿

所　属　長
（所 在 地）
（機関等名）
（職　　名）
（氏　　名）

職印

受　験　承　諾　書

下記の者が山梨大学大学院教育学研究科教育実践創成専攻の入学試験を受験することを承諾します。

記

所　　属

受験者氏名（自筆）

教育学研究科教育実践創成専攻
（学校マネジメント分野　短期履修学生制度申請者用）

受験番号 ※大学側で記入します

令和　　年　　月　　日

山梨大学大学院
　教育学研究科長　殿

所　属　長
（所 在 地）
（機関等名）
（職　　名）
（氏　　名）

職印

受　験　承　諾　書

下記の者が山梨大学大学院教育学研究科教育実践創成専攻の入学試験を受験することを承諾します。

なお、この者が山梨大学大学院教育学研究科教育実践創成専攻（教職大学院）での短期履修学生制度が適用された場合、必ず「教職大学院修学前プログラム」及び「教職大学院フォローアップ・プログラム」を受講することを受験者本人とともに確認しております。

記

所　　属

受験者氏名（自筆）

教育実践創成専攻（現職教員　学校マネジメント分野の志願者以外）

受験番号 ※大学側で記入します

これまでの教育実践の概要

ふりがな	
氏　　名	

２，０００字程度でまとめてください。

（注）これまでの教育実践を証明できるもの（学会誌の論文、各種研究会の実践報告や資料、学級通信などの日常的な教育実践資料など**３点まで**。コピーや写真可）を添付してください。

教育実践創成専攻（学校マネジメント分野）

受験番号 ※大学側で記入します

研　究　業　績　調　書

氏　名（　　）

重点事項	事　　項	年月日	概要（本人の役割も含む）

（注）１　主な研究業績（校内授業研究、教育研究会での発表、研究論考、教育委員会・教育センター等主催の提案発表等）を新しいものから記載して、関連資料（指導案、提案資料等）を添付してください。その上で、特に重要なもの３件について、重点事項欄に重要な順に番号（１～３）をつけてください。なお１～３の番号をつけた事項において、修得したと思われる資質能力について裏面に論述してください。

２　**両面印刷**で出力し、提出してください。　（裏面あり）

教育実践創成専攻（学校マネジメント分野）

研 究 業 績 調 書 （ 裏 面 ）

修得したと思われる資質能力について（各４００字程度）

重点事項１
事項（　　）

重点事項２
事項（　　）

重点事項３
事項（　　）

教育実践創成専攻（学校マネジメント分野）

受験番号 ※大学側で記入します

職　務　実　績　調　書

氏　名（　　）

重点事項	所属及び職名・分掌	期間	主な職務内容

（注）１　職務（教育関係団体等での役割・校務の分掌など）の実績に関わる主な役職などを新しいものから記載し、その上で、特に重要なもの３件について、重点事項欄に重要な順に番号（１～３）を付けてください。また、番号を付けた事項において、修得したと思われる資質能力について裏面に論述してください。

２　**両面印刷**で出力し、提出してください。

（裏面あり）

教育実践創成専攻（学校マネジメント分野）

職 務 実 績 調 書 （ 裏 面 ）

修得したと思われる資質能力について（各４００字程度）

重点事項１
事項（　　）

重点事項２
事項（　　）

重点事項３
事項（　　）

教育実践創成専攻（学校マネジメント分野）

受験番号 ※大学側で記入します

教 育 委 員 会 に よ る 推 薦 書

山　梨　大　学　長　殿

住　　所

教育委員会

印

下記の者は、これまでに学校現場において十分な職務実績・研究業績を有しており、貴研究科出願資格を有す者として、教育実践創成専攻 学校マネジメント分野に推薦いたします。

記

所属（学校名）

氏　　名

☐　短期履修学生制度申請希望

（短期履修学生制度を希望する場合は、☑を付けてください。）

教育実践創成専攻（事前に出願資格審査の対象となる方のみ提出）

受験番号 ※大学側で記入します

令和７年度
山梨大学大学院教育学研究科
教育実践創成専攻（教職大学院）

入学試験出願資格認定審査調書

年　　月　　日

山梨大学長　殿

（フリガナ）
氏　　名
（旧姓）

生　年　月　日　　年　　月　　日生（　　歳）

国　　籍
※外国人（留学生）志願者は国籍を記入してください。

志望する選抜区分	一　般　選　抜	
志望するコース名	コース	
志望する分野	第１志望	第２志望
志願者連絡先 （出願資格の審査結果を確実に受信できるメールアドレスを記入してください。）	住　所	〒
	メールアドレス	@
	電　話	－　　－ （携帯）　－　　－
勤務先又は職業	※社会人の方のみ記入してください。	
出願資格	区　　分	国立　・　公立　・　私立　（○で囲んでください。）
	大学等名	
	学部・学科・専攻等名	
	卒業（見込）年月 修了（見込）年月	年　　月　卒業（見込）　・　修了（見込）

（注）両面印刷で出力し、提出してください。

履　　歴

	年　月	事　　項
学　歴 高等学校入学から記入してください。 ※外国人（留学生）志願者は、小学校入学から記入してください。 また、大学等で研究生等として在学歴がある場合は、その期間も記入してください。	年　月	入　学
	年　月	卒業・卒業見込 修了・修了見込
	年　月	入　学
	年　月	卒業・卒業見込 修了・修了見込
	年　月	入　学
	年　月	卒業・卒業見込 修了・修了見込
	年　月	入　学
	年　月	卒業・卒業見込 修了・修了見込
	年　月	入　学
	年　月	卒業・卒業見込 修了・修了見込
職　歴	年　月 年　月	
	年　月 年　月	
	年　月 年　月	
	年　月 年　月	
	年　月 年　月	
	年　月 年　月	
免許・資格 （特に取得見込みの教員免許等）	年　月	
	年　月	
賞　　罰		

（注）１．必ず、学歴欄は、卒業・卒業見込、修了・修了見込のいずれか該当する項目に〇を付してください。
２．履歴中に虚偽の事項を記入、又は当然記載すべき事項を記入しなかったことが、入学後に判明した場合は、入学を取り消すことがあります。